

2025年度事業計画書

1. 事業所詳細

事業所名	横浜市中心みどり園
事業種別	生活介護（定員34名） 自立訓練（生活訓練）（定員6名）
住 所	神奈川県横浜市緑区中山2-2-3
電話/FAX	電話045-931-8611 FAX045-931-8626
年間開所日数	271日

2. 2025年度の重点課題

【生活介護事業】、【自立訓練事業】

(1) 職員組織の専門性の向上と人材確保

2024年度は、専門性を高めるために様々な研修に参加した職員が多くいました。その研修で得たものを、実際に支援の場で活用する部分が課題となっています。(部会目標)

(2) 意思決定支援の実践

自閉症をはじめ重度知的障がいの利用者さんが多く利用されており、意思表示が困難なことにより利用者さんが意思決定する場面が少ないです。また、職員の意思決定に対する専門性不足が感じられます。(法人重点項目)

(3) 職員、ご家族が心身ともに健やかにいきいきと過ごせる健康経営の推進

2024年度より、支援の質の向上をめざすため職員の心身の健康を図る働きかけとして、職員の休憩時間の確保を行いました。そのため、職員間で休憩時間の取得の意識づけは広まっています。しかし、事業所内の体制や設備の都合上、常勤職員の休憩時間の取得率の低さや休憩スペースの確保の課題が残っています。(継続課題)(法人重点項目)

3. 2025年度の重点目標

【生活介護事業】、【自立訓練事業】

(1) 職員組織の専門性の向上と人材確保

2024年度に引き続き、利用者さん、ご家族は大切なお客様であるという共通認識を持ちながら、日々の支援の中や活動室ミーティングなどの場で、利用者さんの障がい特性の理解を深めます。また、職員間で各々の利用者さんの支援方針の共通認識を持ち、支援の向上と統一性を図ります。(部会目標)

(2) 意思決定支援の実践

職員の意思決定支援の専門性を高めるために、法人内外問わず研修へ積極的に参加します。研修で得たものを、事業所に持ち帰り他職員へ共有することによって意思決定支援の重要性を伝え、利用者さんが日々過ごされている場面からできる意思決定を行います。(法人重点項目)

(3) 職員、ご家族が心身ともに健やかにいきいきと過ごせる健康経営の推進

引き続き、支援の質の向上をめざすために、職員の心身の健康を図ります。方法として、活動室毎でそれぞれの職員の休憩時間を把握していましたが、事業所全体で把握を行い、積極的に全職員が休息を得られる体制を整えます。また、現状ある設備で職員の休憩スペースの確保及び、休憩しやすい環境の整備を行います。(法人重点項目)

4. 年間スケジュール

	行 事	防災・自衛消防訓練等	会議・研修
4月	歓迎会 家族教室	避難訓練(地震)：午後 防犯訓練※防犯ベル使用	BCP【防災】会議 個人情報保護研修 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
5月	園外宿泊訓練	避難訓練(水害)：午後	虐待防止委員会 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
6月	園外宿泊訓練 家族教室	避難訓練(地震)：午前	感染症対策委員会・研修 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
7月	園外宿泊訓練	避難訓練(防犯)：午前	BCP【防災】会議・研修 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
8月	夏祭り 家族教室		虐待防止委員会・研修 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
9月		法人防災訓練	感染症対策委員会・訓練 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
10月	園内宿泊訓練 健康診断 家族教室	消火訓練(火災)：午前	身体拘束適正化委員会・研修 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
11月	園内宿泊訓練 健康診断	避難訓練(地震)：午前	虐待防止委員会 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
12月	忘年会 園内宿泊訓練 家族教室	避難訓練(火災)：午後	感染症対策委員会・研修 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
1月	園内宿泊訓練	避難訓練(地震)：午前	BCP【防災】会議・訓練 自閉症研修/役職者会議

			常勤職員会議/職員会議
2月	園内宿泊訓練 家族教室	消火訓練(火災)：午前	虐待防止委員会 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議
3月	園内宿泊訓練	法人防災訓練	感染症対策委員会・訓練 自閉症研修/役職者会議 常勤職員会議/職員会議

5. その他

(1) 自閉症スペクトラムなどの障がい特性に応じた支援を学ぶ機会を設けます。

昨年度までと同様に、よこはま発達クリニックの医師による定期巡回及び職員へのスーパーバイズと、臨床心理士による自閉症研修を行ない、常勤職員の参加は必須とします。

(2) 支援環境をはじめ施設設備の安全面の確認を行い、必要な部分の整備を行います。

利用者支援に必要な支援環境の整備を行います。また、施設の老朽化に伴い、修繕や清掃が必要な個所が多くあります。修繕に関しては、費用が高額になることが予測されるので、長期計画で計画立て取り組みます。まず、2025年度は必要な修繕箇所を職員間で検討して精査します。

(3) 業務量の平準化を図り、一人が抱え込まないようにします。

利用者支援から事業所内の担当業務まで、特定の職員への業務負担に陥らないようにします。必要な場合は業務改善を行い、職員が「明るく、楽しく、元気に」働き続けられる職場環境をめざします。